

第 135 回沖縄眼科集談会プログラム

日 時：平成 30 年 9 月 9 日（日）9：30～11：30（開場 9 時）

場 所：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室

座長：琉球大学大学院医学研究科医学専攻眼科学講座
准教授 酒井 寛先生

一般演題 9：30～10：30

1. 「超音波生体顕微鏡検査 (UBM) が有用だった落屑症候群の一例」
○湧川空子、力石洋平、與那原理子、新垣淑邦、酒井寛、古泉英貴
(琉球大学眼科)
2. 「硝子体出血後に生じた視神経乳頭上の細動脈瘤」
○山内遵秀、今永直也、江夏亮、目取真興道、古泉英貴 (琉球大学眼科)
宮平大輝 (江口眼科)、大橋和広 (ちばなクリニック)
3. 「術式の異なる線維柱帯切開術の1年成績」
○新垣淑邦、湧川空子、古藤雅子、力石洋平、與那原理子、酒井寛、
古泉英貴 (琉球大学眼科)
4. 「フルメトロンとネバナックの比較 白内障周術期点眼薬」
○比嘉明、城間千歳、比嘉弘文 (比嘉眼科病院)

特別講演 10：30～11：30

『琉大眼科、そして沖縄の未来を見据えて』

琉球大学大学院医学研究科医学専攻眼科学講座

教授 古泉 英貴先生

主 催 沖縄県眼科医会
責任者 知念 靖